

先取

66・2・15

第15号

「烽火」「赤旗」改題
通号73号

1部 20円
25号分 400円（千共）

先取社
東京本社 東京都千代田区
神田駿河台3の2
東京ビル内(25) 7213
大阪支社 茨城のため、当
分は東京支社へ
京都支社 京都市左京区下
鴨宮崎町
振替 東京64937
編集発行人 正木 真一

すべての工場、地域、学園に
共産主義者同盟を
組織せよ！
共産主義者同盟統一委員会

春闘討論集会

体制の確立と、その指導力のもと
での労働者階級の闘争の政治化を
急速に準備し、推進しなければなら
ない。(二一九書局)

プロレタリア通信

東交組員 豊川 正男

春闘を闘う左派の結集へ

カンパニアン方式への埋没を批判せよ

だが実は、このいばらの考え方
も、物価の上昇傾向を前提とし、不
況打開策論の一部なのである。
事実、景気回復優先論を唱える政
府、自民党内にも所得拡大、不
況克服論があつて、それが本年度
予算のなかで総額一五七億円で
いう物価対策予算のあいまいな性
格を表現しているのである。そし
て、こうした財政の性格は他方で

次に行われればこの闘争に全面
的にとりかかるとの意図をさしこ
底的にあきらかにすることによつ
て、四月下旬の全国拠点ストへの
戦闘性組織化の手がかりとなす
べからぬ。物価・最賃制と
して賃上げ闘争、というカンパニ
ア方式の目標を明確に労働者の意
識に提示し、闘争の持続性、組織
性をより強力に力かためてゆく第
一歩である。

かつては都労連の中でも強いど
いわれた東交組も近頃はパッと
しない。民間幹部が路面電車デ
モという当局の合理を呑むのと
引換えに賃上げをしようとしてき
たら、しかし、このやり方も
行方不明で昨年度の一時金で幹部
が機嫌よく公表した額より五万
円も多かった。幹部はあつて機
嫌よく五万をチラチラさせて借
りかたをかけた。彼等はいつ
かの支部でこれをハネのけた。借
りながら労働金から何万円も借
りられるから。

大根生を捨てた職場で力を
つけこれを横に押しよせなくては
は、びびり、木平屋になつて
まう。そこで彼等は「ヤル」と
いう奴と手を組んで職場の支配を
一つ一つはね返すことにした。つ
まり彼等は職場の斗争グループに
なるのだ。

物価メーデーを

転換点に立つ労働運動

VI、今次春闘の意義と我々の任務

来る2/27「物価メーデー」を
突破口に、六六年春闘一闘争が
展開される。「不況下の賃上げ」を
めざす春闘は、労働者に深刻
化しつつある対決のこの意図
に、重要な意義をもっている。
とくに消費者物価の上昇、労働
者階級への犠牲化の事態が合
理化問題とからんで、政府、資本
家の公然たる政策となつていま
「物価闘争」なるもの展開は、
この階級闘争の基本として提起さ
れている。

以上、長きにわたって、日本労働
運動の危機の内実についての把握
を試みてきたのであるが、注目
しなければならぬことは、既に
数ヶ所であつたように日本資本主
義の不況への突入にともない労働
運動、とりわけ総評民闘のつひ
きならぬ事態にたいして、まづ
とらふべきである。

「物価闘争」なるもの展開は、
この階級闘争の基本として提起さ
れている。六六年度政府予算案の考え方
において、物価の上昇傾向を前提とし、
不況下の賃上げをめざす春闘は、労働
者に深刻化しつつある対決のこの意図
に、重要な意義をもっている。とくに
消費者物価の上昇、労働者階級への
犠牲化の事態が合理化問題とから
んで、政府、資本家の公然たる政策
となつていま「物価闘争」なるもの
展開は、この階級闘争の基本として
提起されている。

「物価闘争」なるもの展開は、
この階級闘争の基本として提起さ
れている。六六年度政府予算案の考え方
において、物価の上昇傾向を前提とし、
不況下の賃上げをめざす春闘は、労働
者に深刻化しつつある対決のこの意図
に、重要な意義をもっている。とくに
消費者物価の上昇、労働者階級への
犠牲化の事態が合理化問題とから
んで、政府、資本家の公然たる政策
となつていま「物価闘争」なるもの
展開は、この階級闘争の基本として
提起されている。

大幅賃上・反合理化の旗のもと

春闘を戦闘的におしすすめよう

佐々木 和雄

「物価闘争」なるもの展開は、
この階級闘争の基本として提起さ
れている。六六年度政府予算案の考え方
において、物価の上昇傾向を前提とし、
不況下の賃上げをめざす春闘は、労働
者に深刻化しつつある対決のこの意図
に、重要な意義をもっている。とくに
消費者物価の上昇、労働者階級への
犠牲化の事態が合理化問題とから
んで、政府、資本家の公然たる政策
となつていま「物価闘争」なるもの
展開は、この階級闘争の基本として
提起されている。

「物価闘争」なるもの展開は、
この階級闘争の基本として提起さ
れている。六六年度政府予算案の考え方
において、物価の上昇傾向を前提とし、
不況下の賃上げをめざす春闘は、労働
者に深刻化しつつある対決のこの意図
に、重要な意義をもっている。とくに
消費者物価の上昇、労働者階級への
犠牲化の事態が合理化問題とから
んで、政府、資本家の公然たる政策
となつていま「物価闘争」なるもの
展開は、この階級闘争の基本として
提起されている。

「物価闘争」なるもの展開は、
この階級闘争の基本として提起さ
れている。六六年度政府予算案の考え方
において、物価の上昇傾向を前提とし、
不況下の賃上げをめざす春闘は、労働
者に深刻化しつつある対決のこの意図
に、重要な意義をもっている。とくに
消費者物価の上昇、労働者階級への
犠牲化の事態が合理化問題とから
んで、政府、資本家の公然たる政策
となつていま「物価闘争」なるもの
展開は、この階級闘争の基本として
提起されている。

日本帝国主義の 社会的再編と早大闘争

資本の内的強化の局面に 個別闘争の階級的な性格と方向

杉山 明夫

昨年の慶大の授業料値上反対闘争、今年の同志社大、中大、早大の学費闘争と授業料を中心とした、学内諸闘争と、昨年から今年にかけて、自然発生的要素を多分に包含しながら、学園闘争が、一斉に巻き起つてきている。この学園闘争の大波は、すでに、早大における三十日を越えようとしているストライキ闘争と学内への警官隊の駐屯に端的に示されているように、学生運動史上、レ・パ闘争以上の高揚を示そうとしている。

われわれは、このような、自然発生的な学生運動の高まりが、日本資本主義の現局面のいかなる問題から発生しているのかを明確に洞察することによって、この波の高まり、転換の第一歩をすでに開始しているために、われわれが再三主張してきているこの事実を鮮明に理解せしめておきたい。その転換の本質は、日本帝国主義が、中進資本主義から、先進資本主義に

進への全面的移行期であり、国際関係の転換からいって、資本輸入から輸出への転換であり、貿易の国際収支の黒字資本収支の黒字から赤字への転換であり、国内の政治階級体制からいって、国内の政治階級体制からいって、独占農産物の再建と集約化を促している。したがって本稿は、日本帝国主義の現局面を社会的再編過程としてとらえた第1章と、その社会的再編過程の一つとしての早大闘争と反帝学生運動論を第2章とに分けて、この波の高まり、転換の第一歩をすでに開始しているために、われわれが再三主張してきているこの事実を鮮明に理解せしめておきたい。その転換の本質は、日本帝国主義が、中進資本主義から、先進資本主義に

3.21

社会学同研究学宿を成功せしめ 階級闘争への武器強化の布石に

全国の学生同闘争者、シンパ諸君、ならびに社会学同闘争者、現在の局面は、日韓闘争の過程で、われわれが、最も意識的に把握したものを、思想化し、われわれが、それを政治実践として主体化していくという形成過程にある。

その過程は、同時に、学生戦線において、早大闘争を軸として展開されている学園闘争、また、労働戦線においては、企業合併、民の形成動向、総評民同の交質、

集中化に伴う合理化、資金集結、首切、職制支配、作業長制度の実施などの、プロレタリアートに対する抑圧が、職場生産の末端にまでいたり、資本の組織性によってプロレタリアートを支配しようとする資本の動向に対して、われわれが主体的に闘争する過程である。

また、それは、IMF・JCGのループの抬頭、すなわち反動的市民の形成動向、総評民同の交質、

（大田）岩井、ラインの被弾の状況、この社会学同闘争の全面的な展開、この社会学同闘争の全面的な展開、この社会学同闘争の全面的な展開、

（大田）岩井、ラインの被弾の状況、この社会学同闘争の全面的な展開、この社会学同闘争の全面的な展開、この社会学同闘争の全面的な展開、

同時に、他方では外国独占体に対する資本の内的強化（資本の集中・合併・近代化）合理化、自己資本の強化等々）を死活的課題として提出している。この日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、

出による過剰生産の打開と短縮による利潤率の低下の防止の資本の再編の強化による。この日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、

日韓闘争の要約を通じて、後進国の進出のための政治的プログラム達成の上立ち、公債発行による国家の利益率の回復と通商省の指導による国民企業集約の集約による。この日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、

しかし、公債発行による有効需要の創出政策も、日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、

日韓闘争と国家権力の強化
日韓闘争は、このような社会的再編過程の進行と併行しながら、早大闘争の進行と併行しながら、早大闘争の進行と併行しながら、

企業近代化の
日本独占は、高度成長に伴う高成長で重化学工業を中心とする産業構造に、基本的な転換している。この日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、

公債発行と再編の現時点
このような過程に直面した日本は、この日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、

企業近代化の
日本独占は、高度成長に伴う高成長で重化学工業を中心とする産業構造に、基本的な転換している。この日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、

公債発行と再編の現時点
このような過程に直面した日本は、この日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、日本帝国主義の市場の再編の過程は、